

世界セレクトティブ株式オープン

<為替ヘッジなし>

世界セレクトティブ株式オープン

世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型）

<為替ヘッジあり>

世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり/年1回決算型）

世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり/年2回決算型）

運用状況と今後の運用方針について

2023年4月26日

平素は、「世界セレクトティブ株式オープン」4ファンドをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、各ファンドともに2023年4月25日に決算を迎えました。次ページ以降、当期の運用状況と今後の見通しについて説明しておりますので、ご一読いただければ幸いです。

なお、当期の収益分配金につきまして基準価額の水準等を勘案した結果、以下の様にいたしました。

引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※上記4ファンドの総称として「世界セレクトティブ株式オープン」を用いています。

※各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

世界セレクトティブ株式オープン：為替ヘッジなし/年1回決算型

世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型）：為替ヘッジなし/年2回決算型

世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり/年1回決算型）：為替ヘッジあり/年1回決算型

世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり/年2回決算型）：為替ヘッジあり/年2回決算型

2023年4月25日現在

	為替ヘッジなし /年1回決算型	為替ヘッジなし /年2回決算型	為替ヘッジあり /年1回決算型	為替ヘッジあり /年2回決算型
当期決算 分配金 (1万口当たり、税引前)	100円	330円	0円	0円
基準価額	13,860円	10,209円	9,633円	8,787円
純資産総額	125億円	142億円	1億円	3億円

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和アセットマネジメント）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

投資対象ファンドの委託会社であるノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社の提供するコメントをもとに大和アセットマネジメントが作成したものです。

お伝えしたいポイント

- 一進一退の相場展開続く中、クオリティを重視し組入銘柄を入れ替え
- 成長性を見極めるメガトレンドの視点
- リスクを抑制しつつ、長期的に安定したパフォーマンスの実現を目指す

一進一退の相場展開続く中、クオリティを重視し組入銘柄を入れ替え

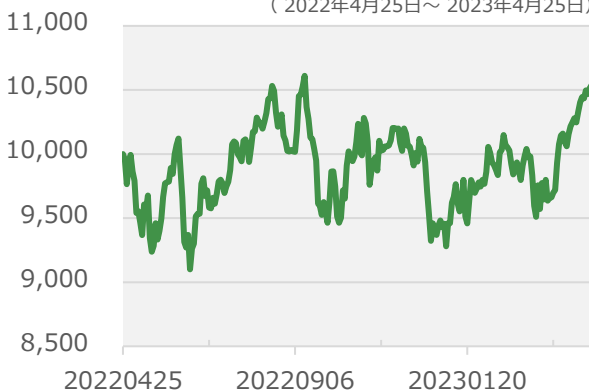
海外株式市場は、過去1年間、一進一退が続きました。高止まりするインフレ率と好調な経済指標を受けFRB（米国連邦準備制度理事会）が利上げ姿勢を継続したことが期を通じて上値抑制要因になりました。3月には米国の地方銀行の経営破綻も下押し要因になりましたが、FRBによる緊急融資枠の新設により資金繰り懸念が後退したことや、金利が急低下したことが好感され、4月にかけては反発しました。

新運用チームはクオリティをより重視してポートフォリオを入れ替え

当ファンドでは、アービット・ストレイマンと昨年2月にマゼラン社に復帰したニッキー・トーマスによる新たな運用チームが「価格決定力を持つ銘柄」に厳選投資する方針を掲げ、ポートフォリオのクオリティの向上を図りました。2022年は7銘柄売却した一方で、新規に13銘柄を組み入れ、下落によって生じた投資機会を積極的に取りに行きました。売買回転率は56%と過去より高くなっていますが、その結果、ASMLホールディング、LVMHモエヘネシー・レイヴィトン、SAPなど高感応度銘柄群に加え、マクドナルド、ヤム・ブランズ、ペプシコなど低感応度銘柄群からのリターンを改善させることができました。

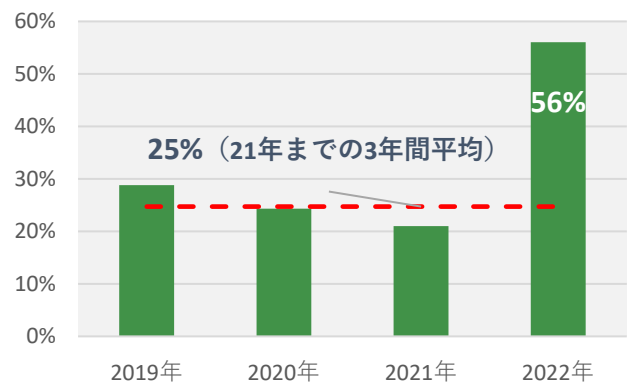
分配金再投資基準価額

(2022年4月25日～2023年4月25日)



※世界セレクトティブ株式オープンの分配金再投資基準価額を2022/4/25を基準に指数化

売買回転率



※国内類似運用戦略のデータを元に算出。売却金額と購入金額の少ない方の金額を期間の平均純資産総額で除した数値。
(出所) ノーザン・トラスト

成長性を見極めるメガトレンドの視点

リスクを抑えても上昇相場に追随するために重要なメガトレンドの視点

当ファンドでは、企業分析においてエコノミック・モート（持続可能な競争優位性）の有無を重視しています。企業が持続的に収益や利益を獲得するためにはエコノミック・モートを有していることが欠かせないと考えるためです。一方で、エコノミック・モートを有していても成長力の乏しい企業もあります。そのため、成長力の判断を補うものとして、メガトレンドの視点を取り入れています。

持続的な収益成長を遂げる銘柄を発掘するための2つの視点

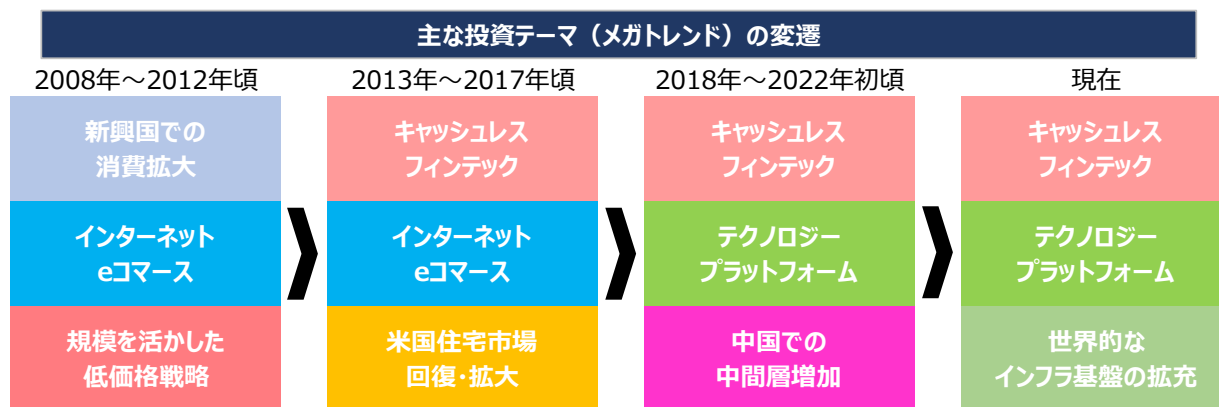


(出所) マゼラン社、ノーザン・トラスト

また、当ファンドでは、株式市場との連動性を常に8割程度以下に抑えるように運用しています。それでも市場よりも高いリターンを上げることができているわけではありません。このメガトレンドの視点は、市場を上回るリターンを上げるための工夫です。持続性のある構造的変化（潮流）の追い風を受け、高クオリティ銘柄は、収益や利益を持続的に高めることができ、事業価値を高めることができると考えています。エコノミック・モートとメガトレンド、2つの視点を組み合わせることで、長期のリターンを上げられると信じています。

マクロ分析を通じた、継続的なメガトレンドの発掘

マゼラン社では、産業レベルでの詳細なマクロ分析を行い、継続的にメガトレンドの発掘に努めています。特定したメガトレンドはその時々々のマクロ環境に応じて変遷しており、足元では「キャッシュレス・フィンテック」や「テクノロジー・プラットフォーム」、「世界的なインフラ基盤の拡充」などに注目しています。



(出所) マゼラン社、ノーザン・トラスト

2010年代初期から注目するメガトレンド：「キャッシュレス・フィンテック」

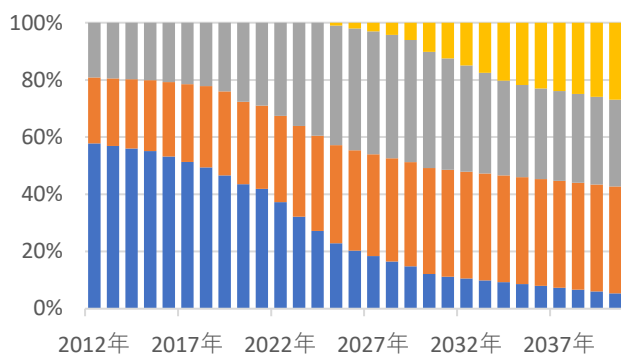
産業レベルでのマクロ分析では、そのメガトレンドが持つ獲得可能な最大市場規模（Total Addressable Market、以下TAM）を見積もります。そこから対象企業の製品やサービスがどの程度の収益機会を持つのか、また、その収益機会の拡大余地、持続性などを予測します。最後に、エコノミック・モートなどクオリティ面での評価を統合することで、個別企業を見極めます。

「キャッシュレス・フィンテック（キャッシュレス社会への移行）」は、マゼラン社が2010年代初期から注目し続けているメガトレンドです。

現金や小切手で取引されている個人消費支出のうち、電子決済への移行可能な部分は世界で15兆米ドル*以上あると言われています。また、オンライン決済は、店舗決済の5倍のペースで成長していると言われており、電子決済の領域は大きく拡大しています。さらに、各国政府も納税や補助金付与に電子決済の活用を奨励しており、これにより新たに30兆米ドル*以上のTAMが追加されると推計しています。

*2019年4月時点のデータを元にしたマゼラン社の推計。

米国個人消費における決済手法の推移



■現金、小切手他 ■クレジット決済 ■デビット決済 ■リアルタイム決済
※FRBのデータを元にした2019年時点でのマゼラン社による推計。
(出所) マゼラン社

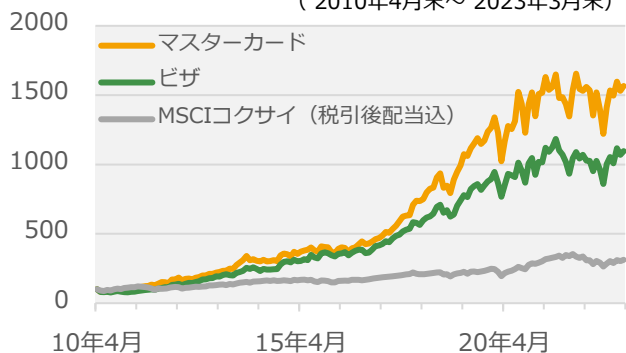
メガトレンドの恩恵を受けるビザ、マスターカードが組入上位

ビザとマスターカードは、「キャッシュレス・フィンテック」のメガトレンドの恩恵を受ける銘柄と判断し、2010年4月の組み入れ開始以降、継続保有しています。ともに世界約200カ国で事業を展開する規模の優位性や強力なネットワーク効果などのエコノミック・モートを有しており、メガトレンドの追い風により業績を拡大し、株価もここまで大きく上昇しました。前述のようにまだまだ現金、小切手決済の領域などに業績拡大の余地があるため、今後も業績を拡大し、株価の上昇が持続すると考えています。

両銘柄のように、メガトレンドからの恩恵を受けて業績を持続的に拡大できる高クオリティ銘柄に厳選投資することで、市場リスクを抑えながら、市場を上回る上昇を目指すことができると考えています。

組入後のパフォーマンス推移

(2010年4月末～2023年3月末)

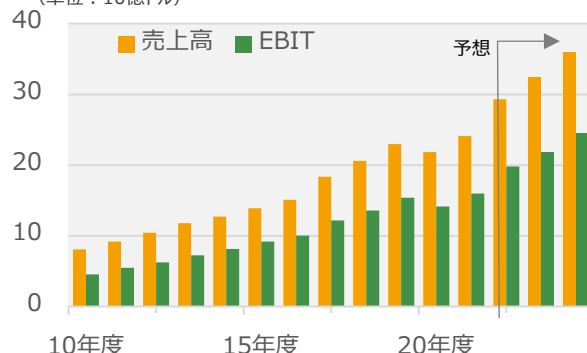


※米ドルベース、トータルリターン（税引後配当込）のデータを元に2010年4月末を100として指数化

(出所) ブルームバーク

ビザの業績推移

(単位：10億ドル)



※23年度、24年度はブルームバーク予想

(出所) ブルームバーク

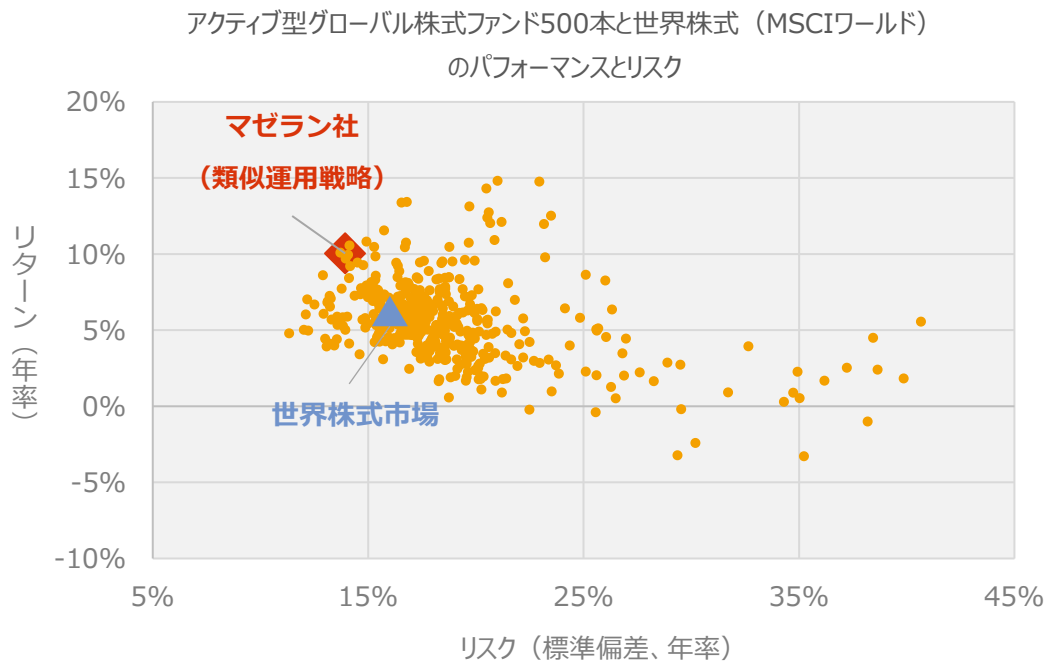
リスクを抑制しつつ、長期的に安定したパフォーマンスの実現を目指す

当ファンドでは、株式市場が「上昇するときは同じように追随」し、「下落するときは出来る限り追隨を回避」するパフォーマンスの実現を目指しています。

類似運用戦略の設定来の運用実績を見ると、世界株式市場と比べ、リスクを抑えつつより高いリターンを効率的に獲得していることが確認できます（下図、ご参照）。

市場との連動性を8割程度以下に維持するという独自のリスク抑制の仕組みと、エコノミック・モートに着目し、メガトレンドを追い風に利益や収益を持続的に拡大する高クオリティ銘柄に厳選投資するという運用スタイルが有効であることを示したものといたします。

この運用に対するアプローチは会社設立来一貫したものであり、DNA（遺伝子）とも呼べるものだと、マゼラン社では考えております。



※データ期間：2007年6月末～2022年12月末。（出所）eVestment

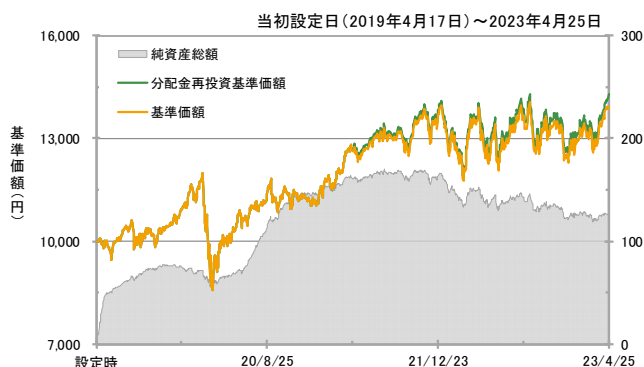
運用見通し

まだまだ不透明な投資環境が続くとみていますが、当ファンドでは持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、景気の悪化局面においても利益を創出できる銘柄を保有しているため、こうした環境下においても底堅いパフォーマンスを見込めると考えています。銘柄選定にあたっては、引き続き世界のメガトレンド（中長期的な構造変化）に着目し、その恩恵を受けて高い利益成長の持続が見込まれる銘柄を厳選する方針です。

■ 基準価額・純資産の推移（2023年4月25日現在）

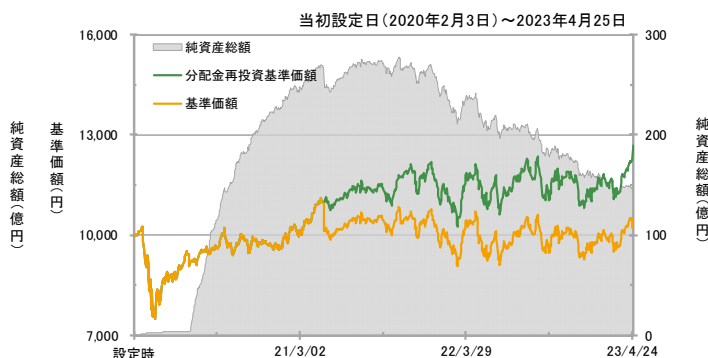
■ 世界セレクトティブ株式オープン

基準価額	13,860円
純資産総額	125億円



■ 世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型）

基準価額	10,209円
純資産総額	142億円



■ 世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年1回決算型）

基準価額	9,633円
純資産総額	1億円



■ 世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年2回決算型）

基準価額	8,787円
純資産総額	3億円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
 ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

組入上位10銘柄 (2023年3月末時点)

組入上位10銘柄				合計40.2%
銘柄名	国・地域名	業種名	銘柄概要	比率
マイクロソフト	アメリカ	情報技術	世界最大のソフトウェア企業。ウィンドウズやオフィスは世界中で圧倒的シェアを持ち、SNSやクラウドビジネスも急成長中。	4.8%
ビザ	アメリカ	金融	ビザ・カードは発行枚数世界No.1。決済ネットワークを通じ、世界中のカード保有者と加盟店・銀行をつなぎ、利便性・安心を提供。	4.5%
ASMLホールディング	オランダ	情報技術	世界最大の半導体露光装置メーカー。主要な半導体メーカーを顧客に持ち、最先端半導体の製造を可能にする極紫外線(EUV)露光装置では市場を独占。	4.3%
インテュイット	アメリカ	情報技術	米国のソフトウェア大手。中小企業向け会計ソフトや個人向け確定申告ソフトで高いシェア。企業買収やグローバル展開により事業領域を拡大させ、持続的な成長を目指す。	4.1%
SAP	ドイツ	情報技術	企業向けソフトウェアの世界的企業。世界企業ランキング上位2000社の大半を含め、世界中の企業が同社のソフトウェアを利用。	4.0%
インターコンチネンタル・エクステンジ	アメリカ	金融	金融市場のテクノロジー・プラットフォーム企業。膨大な取引データを活用した情報サービス、住宅ローン取引の自動化などを成長の柱としている。	3.9%
マスターカード	アメリカ	金融	世界第2位の規模の決済ネットワークを持つ。世界210カ国・地域でサービスを提供し、新興国市場での売上高も拡大中。	3.9%
ヤム・ブランズ	アメリカ	一般消費財・サービス	世界大手のファストフード・チェーン。ケンタッキーフライドチキン、ピザ・ハットなどをグローバルに展開。新興国で店舗網を積極的に拡大中。	3.8%
ネスレ	アメリカ	生活必需品	世界最大の食品・飲料会社。コーヒーや菓子類、ペットフードなど多様な商品を販売。「ネスカフェ」や「キットカット」など世界的ブランドを多数保有し、「ブルーボトルコーヒー」も同社傘下。	3.6%
LVMHモエ・ヘネシー・ルイ・ヴィトン	フランス	一般消費財・サービス	世界的高級品会社。ルイ・ヴィトンやフェンディなど革製品のほか、酒類や香水、化粧品、時計・宝石などのブランド品の製造・販売を手掛ける。	3.5%

※ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社の提供するデータを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

※上記は、当ファンドの実質的な投資対象ファンドであるアンカーMFGグローバル株式マザーファンドのデータです。

※比率はマザーファンドの純資産総額に対するものです。

※比率の合計が四捨五入の関係で一致しない場合があります。

※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)の産業分類によるものです。

※個別企業の推奨を目的とするものではありません。

Ⅰ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

日本を除く世界の金融商品取引所上場株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 日本を除く世界の金融商品取引所上場株式等に投資します。
(注)「株式等」…DR(預託証券)およびリート(不動産投資信託証券)を含みます。
2. 株式等の運用は、マゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドが担当します。
3. 世界セレクトティブ株式オープン(為替ヘッジあり/年2回決算型)と世界セレクトティブ株式オープン(為替ヘッジあり/年1回決算型)は為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。
4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、世界の株式等に投資します。
※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

Ⅰ 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク(株価の変動、リートの価格変動)」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があります。

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※「世界セレクトティブ株式オープン(為替ヘッジあり/年2回決算型)」と「世界セレクトティブ株式オープン(為替ヘッジあり/年1回決算型)」は、為替ヘッジを行いませんが、影響をすべて排除できるわけではありません。また、一部の通貨について、為替ヘッジを行わない場合があるため、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

Ⅰ ファンドの費用

世界セレクトティブ株式オープン
 世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型）
 世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり/年1回決算型）
 世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり/年2回決算型）

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.3%（税抜3.0%）	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率1.1275% （税抜1.025%）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率0.825%（税抜0.75%）	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率1.9525%（税込）程度	
その他の費用・ 手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、年1回決算型は毎計算期間の最初の6か月終了日（休業日の場合翌営業日）および毎計算期末または信託終了時に行なわれます。年2回決算型は毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 投資信託にはクーリング・オフ制度は適用されません。

世界セレクトティブ株式オープン

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
湘南信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第192号	○			
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○			

世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型）

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
湘南信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第192号	○			
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○			
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○			○

世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年1回決算型）

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○			

世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年2回決算型）

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○			
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○			○

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。